

研究指導計画(研究指導の方法とスケジュール)

経済学研究科博士前期課程

年次	次期	項目	
1年次	4月	オリエンテーション	講義の履修方法や学生生活における留意事項などを説明する。
		指導教員届提出	特別な事情が無い限り、入学試験において、第1志望とした指導教員を、指導教員として届け出る。
		履修登録	指導教員の指導に従い、受講する科目を選択し、履修登録する。
		研究計画書の提出	学生が、①研究題目、②研究目的を達成するための研究計画・方法を記入し、教員が、③指導方法を記入し、提出する。
	4月- 翌年3月	研究計画書の実行	指導教員の研究指導を受けながら、策定した研究計画に基づいて、研究を実行する。
2年次	4月-	研究計画書の提出	指導教員の指導に従い、研究計画の見直しを行い、提出する。
	4月- 翌年2月	研究計画書の実行	指導教員の研究指導を受けながら、策定した研究計画に基づいて、研究を実行する。
	11月	修士論文題目提出	指導教員の承認を得て、修士論文題目を提出する。
	11月	修了者中間報告会	論文の完成度をより高めるため、最終審査に先立って中間報告会を行い、指導教員以外の教員の意見を聞く。
	翌年1月	修士論文提出	中間報告における教員のコメント等に基づき、指導教員による研究指導を受けて研究を完成させ、修士論文を提出する。
	2月	最終試験	指導教員を主査とし、当該論文に関連ある授業科目担当の教員2名以上を副査として加え、発表および口頭試問により行う。
	3月	修士学位授与	学位が授与される。

研究指導計画(研究指導の方法とスケジュール)

経済学研究科博士後期課程

年次	次期	項目	
1年次	4月	オリエンテーション	講義の履修方法や学生生活における留意事項などを説明する。
		指導教員届提出	特別な事情が無い限り、入学試験において、第1志望とした指導教員を、指導教員として届け出る。
		履修登録	指導教員の指導に従い、受講する科目を選択し、履修登録する。
		研究計画書の提出	学生が、①研究題目、②研究目的を達成するための研究計画・方法を記入し、教員が、③指導方法を記入し、提出する。
	4月- 翌年3月	研究計画書の実行	指導教員の研究指導を受けながら、策定した研究計画に基づいて、研究を実行する。
	4月- 翌年3月	論文報告会	博士論文の内容に関連のある論文報告会を、適宜行い、指導教員以外の教員の意見を聞く。
	4月- 翌年3月	成果の公表	学会報告を適宜行う。公刊論文、Working Paper または Discussion Paper の公表を適宜行う。
2年次	4月-	研究計画書の提出	指導教員の指導に従い、研究計画の見直しを行い、提出する。
	4月- 翌年3月	研究計画書の実行	指導教員の研究指導を受けながら、策定した研究計画に基づいて、研究を実行する。
	4月- 翌年3月	論文報告会	博士論文の内容に関連のある論文報告会を、適宜行い、指導教員以外の教員の意見を聞く。
	4月- 翌年3月	成果の公表	学会報告を適宜行う。公刊論文、Working Paper または Discussion Paper の公表を適宜行う。
3年次	4月-	研究計画書の提出	指導教員の指導に従い、研究計画の見直しを行い、提出する。
	4月- 翌年2月	研究計画書の実行	指導教員の研究指導を受けながら、策定した研究計画に基づいて、研究を実行する。
	4月- 翌年2月	論文報告会	博士論文の内容に関連のある論文報告会を、適宜行い、指導教員以外の教員の意見を聞く。
	4月- 翌年2月	成果の公表	学会報告を適宜行う。公刊論文、Working Paper または Discussion Paper の公表を適宜行う。
	11月	博士論文題目提出	指導教員の承認を得て、博士論文題目を提出する。
	翌年1月	博士論文提出	論文報告会における教員のコメント等に基づき、指導教員による研究指導を受けて研究を完成させ、博士論文を提出する。
	2月	最終試験	指導教員を主査とし、当該論文に関連ある授業科目担当の教員2名以上を副査として加え、発表および口頭試問により行う。
	3月	修士学位授与	学位が授与される。